



少年自然の家のフリーマーケット



自治会でのリサイクル活動

10月は3R推進月間

資源物を増やしてごみを減らしましょう

環境省は、10月を循環型社会の形成に向けた取り組みをより一層推進するリデュース・リユース・リサイクル推進月間(通称:3R推進月間)と平成24年に決めました。3Rとは、リデュース(Reduce)・リユース(Reuse)・リサイクル(Recycle)の3つの言葉のアルファベットの頭文字をとったもので、資源を大切にしたいライフスタイルの基本となる行動のことです。

【問合せ】=本庁環境課廃棄物対策グループ ☎(23)5111(内線2731)

その他
過剰包装や本のカバーなど不必要な包



詰め替え商品の利用を

詰め替え製品の利用で、大きなごみの減量となります。

【例】シャンプーは本体容器70g、詰め替え用袋10gで60gのごみを減らすことができます。



マイバッグで買い物

一人一人が実行できる、もとも身近なごみ減量化です。また、原油の節約にもなります。レジ袋1枚(大)を作るのに必要な原油は18・3mlといわれています。



リデュース(ごみを出さない)

物を買うときから、ごみの減量化が始まっています。本場に必要量・物だけを購入し、衝動的な購入は控えましょう。



リサイクル(資源として再利用する)
まめにリサイクルをしてごみの量を減らしましょう。
現在、薩摩川内市で皆さんにリサイクル品目をお願している品目は次のとおりです。
空き缶(スチール缶・アルミ缶)、ビン類(生きビン・無色透明ビン・茶色ビン・その他色ビン)、ペットボトル、白色トレイ、発泡スチロール、プラスチック容器類、紙類(ダンボール・新聞・チラシ・雑誌・紙バック・その他紙)、乾電池



リユース(繰り返し使用する)

「もったいない」「まだ使える」「他の人はいらさないかな」...など繰り返し使用することでごみ減量に努めましょう。



リサイクル(資源として再利用する)

装は断りましょう。野菜くずなどは生ごみ処理機などで堆肥化して家庭菜園で使いましょう。

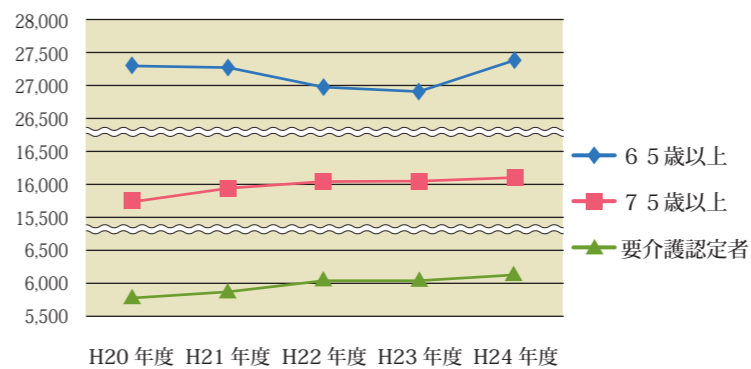
薩摩川内市 介護保険の現状について

介護保険制度は、高齢者が介護を必要とする状態になっても、尊厳をもって、自立した生活を営むことができるよう、高齢者を社会全体で支える仕組みとして、平成12年にスタートしました。40歳以上の方が保険料を納める対象となります。介護や支援が必要になったとき、必要なサービスを受けることができます。

【問合せ】=本庁高齢・介護福祉課介護給付グループ ☎(23)5111(内線2621)



(人) 被保険者および75歳以上高齢者推移



本市の高齢化
国立社会保障・人口問題研究所の資料によると、本市は平成37年頃に高齢化率のピークを迎える予想されています。また、要介護認定者・介護保険サービスの利用度が高い75歳以上の高齢者数は平成47年頃がピークになると予想されています。

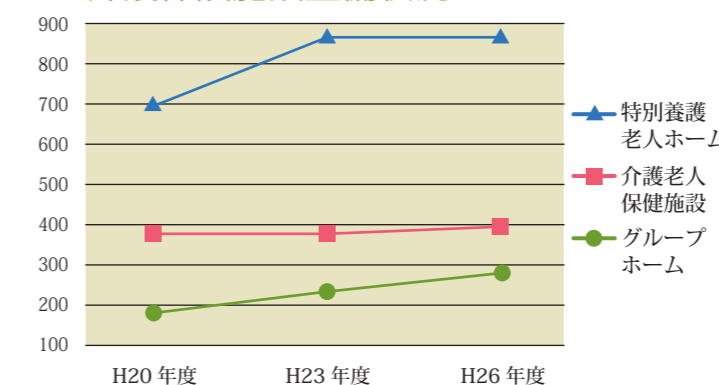
介護保険料
介護保険は、3年を1期として事業計画を策定し、介護保険料を設定しています。

	H18～20年度	H21～23年度	H24～26年度
介護給付費	231億7300万円	266億600万円	302億円
基金残高	619,117,000円	196,382,000円	—
介護保険料	4,500円	4,500円	5,800円

厳しい運営状況
高齢化の進行、特に75歳以上の高齢者の増加に伴い、要介護認定者・介護保険

第3期(平成18年～20年)と第4期(平成21年～23年)の保険料は月額4500円に設定しました。特に、第4期は、被保険者の負担増を勘案し、基金などの取り崩しにより第3期と同額の保険料に設定しました。しかしながら、第5期(平成24年～26年)においては、介護給付費の増加で基金も底を突いたことから、保険料を月額5800円に引き上げました。

(人) 介護保険施設整備状況



サービス利用者も年々増加しています。介護保険施設数も充実する一方で介護保険給付費も増加し、介護保険事業は厳しい運営となっています。

現在、国では、社会保障制度改革国民会議の答申を受け、第6期介護保険計画(平成27年～29年)に向けた取り組みが始めています。本市も同事業の充実強化や給付費適正化などの施策を講じ、国の計画を受け、保険料および給付費の抑制を図り、同事業の健全運営に努めてまいります。